

議会だより

いわいずみ

No.197

2022.1.14 発行
岩手県岩泉町議会



Contents

02 出産祝金の増額を

議会から町に8項目を要望

04 町の経済対策(マシマシ食事券)好評で完売に ～530万円予算を増額補正～

08 町の考えを問う(5議員が一般質問)

14 タブレット活用開始

大家族シリーズ 26

小本(中島)の千葉鉄郎さん7人家族です。年末には町を離れている息子さん・娘さんも成人式参加のために帰省し、にぎやかなお正月を過ごしました。お孫さん2人の成長が楽しみです。



町に要望書を手渡しました

出産祝金の増額を

議会から町に8項目を要望

町議会と議会政務調査会は10月27日、令和4年度の町施策に対する要望書を中居町長に提出。出産祝金の増額や畜産・酪農ヘルパー制度の充実など8項目を要望しました。

要望の内容

新型コロナウイルス対策の継続

◆こども園や小中学校での消毒の徹底と消毒作業サポート職員の継続配置
◆子どもたちのソーシャルディスタンスなど基本的な感染対策の継続

人材確保対策に旅費・滞在費を

◆医療・福祉（介護・児童）分野での人材確保
◆移住して町の魅力を感じ定住を決意する人もいる。実習生に旅費・滞在費の支給など人材確保への対策を強化



岩泉に生まれてよかったと思える町づくりを
工藤 朔くん（岩泉・0歳）

森林環境譲与税活用し林業支援

◆森林経営管理制度（※）に積極的に取り組み、山林再生や林家の所得向上など森林、林業施策の拡充

漁業後継者の育成

◆減少の一途である漁業者の育成や後継者対策として、水産業を担う人材の育成施策のさらなる取り組みを



ますの声

子育て支援

卯名根口加奈子さん（小川・29歳）

昨年10月に長女を出産し、子育てに奮闘しています。出産祝金もそうですが、さまざまな子育て支援を手厚くしていただくことはありがたいですし、心強く思っています。

出産祝金の増額

◆第1子に30万円、第2子に50万円、第3子以降には100万円に増額を
◆定住化対策として誕生時、小学校入学時、中学校入学時に祝金の約三分の一の額を段階的に支給

交通弱者への交通体系整備

◆地域課題の包括的な把握と路線バス、コミュニティバス、デマンドタクシー、カーシェアリングなど各地域の実情に対応した交通体系の構築



ますの声

畜産ヘルパー

佐藤 志寿さん（畜産業・39歳）

ヘルパー制度は、自分たちが牛の世話をできない時などに大変助かると思います。幅広い分野で活動してもらえる制度があれば、高齢化や担い手不足などの問題解決に少しでもつながると思います。

畜産・酪農ヘルパー制度充実と就農対策

◆簡単にヘルパー制度を利用できるように改善・充実を
◆地域おこし協力隊制度を活用し、酪農ヘルパーから農家の後継者・就農対策につながる取り組みを

小規模事業者の振興

◆コロナ禍で厳しい経営を強いられている小規模事業者へ「町中小企業・小規模企業振興計画」の実効性を図り、商品券を活用した町内での需要喚起、新たな振興策創出の取り組みを

商工振興

小田 健雄さん（小中屋商店社長・80歳）

新型コロナですます人が町に出て来なくなりました。龍ちゃんカード、商品券、食事券などは消費者にも好評です。これからも持続的な経営につながるよう継続支援と新規振興策に期待します。



ますの声

（※）町が仲介役となり経営管理が行われていない森林所有者と事業者をつなぐことで適切な管理を行うこと

町の経済対策 (マシマシ食事券) 好評で完売に

～530万円予算を増額補正～



食事券
11月発売分の利用率は
20日間で23・9%利用

問 町内飲食店消費拡大事業（マシマシ食事券）予算の追加分は、10月臨時会での提案と同じ事業内容か。

答 全体セット数を2000セットに予定。購入限度を一人当たり4セットにする。

問 使用期限は前回と同じか。

答 同じく2月28日までの設定。店舗は当初より1店舗増えて30店舗となる。

問 11月に購入した人も買えるか。

答 前回4セット以上購入した人は買えない。

問 平日だと仕事で購入が難しいという声がある。販売方法に変更はあるか。

答 19時までの販売時間延長で対応し、各支所でも販売する。

問 完売した11月販売分の利用率は。

答 11月15日発売後約20日間で食事券の回収率が23・9%。金額として358万5500円である。

問 計画する際に、町産食材料利用促進の働きかけがあったか。

答 好評な事業なので、検討していきたい。



食事券の追加販売も好調

ますの声

小川 仁志さん (1001ひろば店長・59歳)

**お客さんが増え
ありがたい支援**

コロナ禍で客足・売上げが減少している中で、非常にありがたい支援です。マシマシ食事券で食事に来るお客さんが増え喜んでいますが、1日も早いコロナ収束を願っています。



経済対策の概要

3580人泊分
宿泊料金を助成

宿泊助成は、1泊あたり5000円助成と宿泊者1人に10000円の商品券付与がありました。3580人泊分の予算措置がされ完売しています。

飲食店等感染症予防対策事業補助金は、県認証基準適合のために購入したアクリル板などの費用に対し、1店舗10万円を上限に補助がありました。

11月末に申請が締め切られ、26店舗への支援が完了しています。

送料無料の補助
好評で追加予算

経済循環促進事業補助金（送料無料）は、

2000円以上の特産品を町外発送する場合の送料（上限4000円）を補助しました。好評により予算が追加されました。

マシマシ食事券で
2500万円効果

町内飲食店消費拡大事業（マシマシ食事券）は、町内飲食店で使用できる食事券5000円分を2500円で購入できるよう補助を行いました。11月に3000セット、12月に2000セットが発売され、飲食業界に2500万円の効果を見込める事業でした。

町の事業継続支援金
12業者へ交付が決定

中小企業者等事業継続支援金は、売り上げが減少した法人に30万円、個人に20万円の給付がありました。12月時点で12件が交付決定となっています。

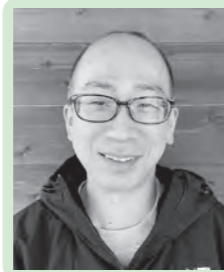
特産品の全てを対象に 事業者追加申請で対応

送料無料

送料の支援 助かります

茂木 和人さん (道の駅三田貝分校駅長・48歳)

送料支援では、特産品を町外の知り合いに送る人が増え、コロナ禍で大変な中とても助かっています。牛肉とワインの消費拡大にも支援いただき、お客様に好評です。

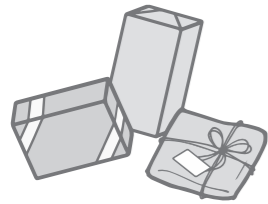


問 経済循環促進事業（送料無料補助）予算が追加となっている。前回と同じ内容か。

答 各事業者から申請があった特産品が対象となっている。追加の申請で対応する。

問 利用期間は11月15日から1月23日まで、前回と同じ事業内容である。

問 同じ店で魚を送る時は無料でも、乾物は対象外だった。特産品全てを補助対象にできないか。



米 価 下落による緊急対策内容は 農協出荷量に依り500円

問 米価下落緊急対策補助金の内容は。

答 本年度の農協出荷数量に依り、30割当たり500円を交付する。

問 実施時期は。

答 12月中旬に数量が確定し、年明けに農協と交付手続きを進める。生産者には2月中旬に交付する予定である。

問 500円に設定した経緯は。

答 県内の他市町村では、30割当たり100円から200円のところもある。管内市町村との意見交換で苗代の半分程度を支援することとなった。



来年の米価に期待

問 農協出荷をしていない農家は対象にならないか。

答 農協以外への出荷もさまで、価格設定もある程度自由である。農協概算金下落の影響を受ける農協出荷農家だけとした。

問 対象農家数は。

答 25戸を予定している。

4月から保健福祉課が健康推進課へ課名変更

問 町民課の地域福祉室になる。

答 変更後の災害救助法の担当は。

問 本庁舎から離れている課の集約に利用したい。

答 復興課が現在使用している建物は。

問 職員の減少は難しい。増加は考えなければならぬ。

答 復興課の廃止、町民課、保健福祉課の業務見直しによって職員の増減はあるか。

来年度の行政組織見直しは、9月10日、10月6日、11月26日に開催された全員協議会（※）で3回にわたり当局から説明を受けました。保健福祉課が健康推進課に変更になることなど「課設置条例の一部を改正する条例」が12月7日開催の条例補正予算審査特別委員会（八重樫龍介委員長）に付託され、原案のとおり可決しました。ここでは、全員協議会の内容（質疑）を要約してお伝えします。



赤ちゃんからお年寄りの健康づくりを一体的に推進

問 課名はあまり変えず、簡単で分かりやすく住民目線に立つ配慮を。

答 町民課は町民に広く浸透しているのに変更しない。従来の健康推進室が町民になじみがあるので「健康推進課」に変更する。

おしえてぴーちゃん

（※）全員協議会とは
町政課題などの協議・調整のため、必要がある時に開催するもの。

子育て給付 対象外世帯へ独自支給は国基準に合った給付のみ

問 一定以上の所得の場合、支給対象外になる。該当する世帯数ほどのくらいか。

答 所得制限は、家族構成によって限度額が変わる。現段階では、把握していない。

問 自治体の中には、対象外世帯へ独自支給を決定しているところもある。そのような考えはないか。

答 今の段階では、国の基準に合わせた給付を考えている。

問 まずは5万円現金給付ということだが、報道によると10万円を現金一括で給付する自治体もあるようだ。残り5万円の見通しは。

ますの声

0歳児の預かり保育 ベビーシッター必要

たてほらやすのり 舘洞康範さん・亜矢子さんご夫妻 (岩泉・39歳) (37歳)

給付金はとても助かります。子育て支援は、0歳児の預かり保育やベビーシッター制度も必要です。子育て支援センターの土曜日預かり保育があればいいです。



双子のまりちゃん、きこちゃん(0歳) 信之介くん(6歳)、賢心くん(4歳)

問 各自自治体の状況で現金という情報もある。確定情報が入ってから状況に合わせ、内部協議し進める予定である。

答 12月21日の臨時会で、子育て支援のため所得制限なしで10万円一括現金支給が可決しました。

その後の状況

コロナワクチン3回目は ワクチン 65歳以上は1月下旬から

問 新型コロナワクチン3回目接種の計画は。

答 65歳以上は1月下旬、4月末から5月初め頃の接種を考えている。医療従事者は、1月10日から優先接種を進める。

問 接種会場はどこになるか。

答 済生会岩泉病院で1月30日からスタートする。2月から第1・第3日曜日の

接種を考えている。

問 周知はどのように行うか。

答 未接種者への案内と併せて3回目の



早期の3回目接種が望まれています

接種も広報で行っている。詳細は、1月1日号の広報で行う。2回目の接種順をもとに、日時と会場を指定して案内する方法とする。

ますの声

前回は副反応がありませんでした。高齢者のリスクが高いそうなので、3回目も接種します。(70代・男性)

腕が筋肉痛になりましたが、翌日には痛みも引き、熱も出ませんでした。接客業なので、3回目も早く受けたいです。(40代・男性)

全身に痛みを感じ3日間ぐらいたるくのも大変でした。3回目も不安がありますが周りのために接種します。(20代・女性)

2回目接種の夕方になりました。発熱と倦怠感がありました。翌日まで症状が続き、早めに薬を飲めば良かったと後悔しました。(30代・女性)

現在		令和4年4月から	
町民課	業務内容	町民課	業務内容
戸籍住民室	戸籍・住基など	戸籍住民室	戸籍・住基など
国保年金室	国保・年金など	国保年金室	国保・年金など
長寿支援室	障がい者・自立支援など	地域福祉室	障がい者・自立支援など
地域包括支援センター	ゴミ・犬登録など	環境対策室	ゴミ・犬登録など
保健福祉課	業務内容	健康推進課	業務内容
健康推進室	健診・予防接種など	健康推進室	健診・予防接種など
社会福祉室	妊産婦・子育て全般	子育て支援室	妊産婦・子育て全般
環境推進室	介護認定・給付など	長寿支援室	介護認定・給付など
	ケアマネ・医療介護連携など	地域包括支援センター	ケアマネ・医療介護連携など
復興課		廃止	
復興室			



合砂 丈司 議員

一般質問・答弁
全文はこちらから



問 10月に実施した実証実験「安家お試しタクシー」の結果をどのように評価しているか。14日間の実証実験では成果が限られるが、次の実証実験はないか。

町長 2週間の実証実験期間中に14人の利用があった。乗降がつかなくてバスが利用できなかった人も利用でき、手応えを感じている。一方で見えてきた課題もあり、より良い仕事を

問 お試しタクシーの評価は 答 バス困難者利用で手応え



再度の実証実験に期待

17文字の
ひとりごと

年取ると
車の運転
不安がみ

組み作りに向け再度実証実験を実施したいと考えている。

問 介護を要する人たちに寄り添った考えに立ち、乗車前の戸締り、火の元確認などサービスを兼ねた運行が必要と考えるがどうか。

町長 見守りサービスは、さまざまな制約もあり、運行事業者とも相談しながら町民が安心して利用できる方策を検討したい。

町の考えを問う

ふるさと納税

米価下落

商工振興

旧岩泉駅

給食費

補聴器

交通

公園

千葉 泰彦 議員(10パー)
◆ふるさと納税の進捗は
◆米価下落の農家救済策は

島山 和英 議員(10パー)
◆振興計画事業をどう展開か
◆旧駅舎のリノベーションを

林崎竟次郎 議員(9パー)
◆給食費の無料化を
◆補聴器助成で認知症予防を

合砂 丈司 議員(9パー)
◆お試しタクシーの評価は

坂本 昇 議員(8パー)
◆球場の芝生開放を

12月定例会 一般質問

5人の議員が質問しました。

一般質問とは…議員が町政課題への質問や提言を行うことです。



一般質問全文は、町HPで公開しています。



坂本 昇 議員

一般質問・答弁
全文はこちらから



問 球場の芝生開放を

答 利用できるか検討

問 岩泉球場の芝生を大会や練習日以外の日に、子どもたちへ開放してはどうか。

町長 球場の利用は土日・祝祭日に限られ、平日の日中は利用されていない状況。管理に影響がない範囲で利用できるよう検討する。

問 町営住宅ミニ公園は、とがった石や枯れ葉の除去、ゴミステーションの移動で利用しやすく整備すべき。

町長 枯れ葉の除去などは、職員の定期見回

りの際に対応してきて、より利用しやすい環境確保に向け、利用者の協力も得ながら対応

問 公園などの総合的な案内をすべき。

町長 子育て世代の移住・定住にも結び付けられるよう、取り組む

問 岩泉公民館跡地やB&G海洋センター東側の空き地を公園として活用しては。

町長 有力な候補地である。整備に向けた調査・検討を進めたい。

策を考えたい。



芝生なら転んでも安心です

17文字の
ひとりごと

お日様に
誘われ出向く
憩いの場



林崎竟次郎 議員

一般質問・答弁
全文はこちらから



問 給食費の無料化を

答 食材費負担は継続

問 普代村と九戸村は、小中学校などで給食費を無料化している。田野畑村と一戸町では、首長が給食費無料化を公約に当選した。子育て支援策として給食費無料化に取り組み考えはないか。

教育長 学校給食法に基づき、食材費以外は公費負担である。経済的理由で負担が困難な世帯には支援も行っている。

町長 これまでどおり食材相当額を保護者の皆さまから負担をいただく。



一人当たり年間約5万円弱の給食費

制度創設を求める請願を採択した。

難聴が認知症の最大危険因子との発表もある。認知症予防に補聴器利用は簡単な方法である。助成制度の早期実現を求める。

町長 ニーズ調査では、外出控えの理由で、難聴のほかに視力の衰えをあげる人もおり、必要な支援は多岐にわたる。国や県の動向を注視していきたい。

問 補聴器助成で認知症予防を

答 必要な支援は多岐にわたる

問 県議会は加齢性難聴者の補聴器購入支援

17文字の
ひとりごと

明日へ咲く
学校給食
無料化へ

地方創生は知恵比べ 議会の活性化に期待

町民代表として付託に
応えるため、実状と
具体的な提案を示しな
がらの質問。わかりや
すく答弁している町当
局の努力に敬意を表し
ます。

提案を示した質問
わかりやすい答弁

役場職員時代には、
口下手なので「議会が
なければ」と思ってい
ました。その苦悩を思
い出しながら傍聴しま
した。

苦悩を思い出しながら



竹花 敏明さん
(小本・77歳)

傍聴者の声

12月定例会の傍聴者数は、のべ3人でした。
傍聴された小本の竹花敏明さんから議会に対
する声を聴きました。

プロジェクトチーム
立ち上げも必要

地方の時代は幾久し
く、地方創生は各自治
体の知恵比べです。重
点事業に向けたプロ
ジェクトチームなどの
立ち上げも必要です。
町議会の活性化を期待
しています。



議会を傍聴しませんか

町議会定例会は、3月、6月、9月、12月に行わ
れています。定例会、臨時会、特別委員会を問わず傍
聴が可能です。皆さんも町の施策に対する議論を直接
聞いてみませんか。

手続きは、必要事項を受付簿に記入するだけです。
※議会がある時は、ぴーちゃんネットや町のホーム
ページでお知らせしています。



畠山 和英議員

一般質問・答弁
全文はこちらから



問 振興計画事業をどう展開か

答 起業奨励金制度の創設検討

問 中小企業・小規模
企業振興計画で掲げる
事業をどう展開するか。

町長 「移動販売継続
に係る支援」は、本町
の特性に合った対策を
検討している。

「新規創業及び第二
創業に係る費用補助」
「空き店舗等利活用補
助金の増額」では、新
たな起業奨励金制度の
創設を目指している。
「オンラインシヨッ
プ等の構築支援」は、
システムを構築し、情
報発信、販路の拡大に
つながるように進める。

問 旧駅舎のリノベーションを

答 ファンを巻き込み事業展開

問 旧岩泉駅舎は、歴
史的建造物として後世
に残したい宝物。リノ
ベーション(※)して
活用すべきでは。



岩泉駅ミニパーク的活用を

町長 廃線になった岩
泉線と駅舎は、後世に
残していくべきものと
認識している。
関係機関や町民の意
見も聞き、鉄道ファン
を巻き込んだ事業展開
の可能性や観光面での
活用も含めた事業の展
開を検討する。

その他の質問

- ◆経営発達支援計画・
活性化事業の支援
- ◆コロナ禍の経済対策

17文字の
ひとりごと

お店屋さん
過疎化コロナ禍
乗りこえる

問 ふるさと納税の進捗は

答 昨年対比で14.2%増

問 企業版と一般のふ
るさと納税の進捗は。

町長 企業版ふるさと
納税の実績は、11月末
現在、委託先で2企業
から20万円、町独自
は誘致企業関連など9
企業から750万円
ある。



千葉 泰彦議員

一般質問・答弁
全文はこちらから



一般ふるさと納税
は、10月末時点比較で
昨年度が5581万円
に対し、本年度は63
75万円と14.2%増
で推移している。
返礼品開発は昨年度
の新規5品目に対し、
本年度は新規6品目と
累計で145品目に
なっている。
地域再生計画は「岩
泉町まち・ひと・しご
と創生総合戦略」6つ



地域の特産品を返礼品にしています

17文字の
ひとりごと

凍みるころ
額の汗は
はる想い

問 米価下落の農家救済策は

答 30キロあたり500円補助

問 米の買取価格は昨
年より2割程下落。稲
作農家救済の方針は。

町長 苗代の2分の1
相当額の支援を行う。
今期の農協出荷量に
応じて30キロあたり500
円を補助する。

議会のしくみ Part-1

町議会議員の資格年齢

資格年齢は 満25歳以上

公職選挙法第10条に
おいて、町議会議員に
立候補できる権利(被
選挙権)は、満25歳以
上で町議会議員選挙の
選挙権を有する者(町
に住所がある者)とさ
れています。

歴代最年少は31歳

歴代(旧村合併後の
昭和32年以降)の町議
会議員で最年少当選者
は小松原進さんで、31
歳の時に町議会議員に
就任し、昭和36年から
平成13年まで8期在任
されました。



町議会議員現役時代の熊谷さん

熊谷 憲慧さん(岩泉・現在89歳)
昭和48年から平成17年まで6期在任

元議員の声

若くして議員になら
れた元議員の熊谷憲慧
さんを取材しました。

意思しました。

抜本的な改革で なり手不足解消

選挙は、関係者の対
応に迫られる家族の負
担が大きく、理解を得
ることが難しいと思っ
ています。SNSが普及し
ている昨今、選挙カー
での呼びかけは時代に
合わないと感じます。
議員のなり手不足解消
には、選挙制度の抜本
的改革が必要と思われ
ます。

同級生の薦め 40歳で初当選

1970年代は龍泉
洞の観光客も増加傾向
にあり、インフラ整備
も盛んで活気がありま
した。
40歳の時、多数の同
級生からの薦めで町議
会選挙への立候補を決

(※) これからの使い方に合わせて作り替えること

通学路安全確認 現地調査を実施

総務常任委員会（八重樫龍介委員長）は11月15日、26日の2日間にわたり、教育振興の調査として通学路の安全確認現地調査を行いました。
12月3日には、調査結果を踏まえ教育委員会と地域整備課の担当者で意見交換を行いました。

現地調査の結果

サイドドットライン 試行的に施工

岩泉地区は、岩泉小学校前、はばさか、済生会岩泉病院から町営住宅惣畑団地までの道を調査しました。
歩道がない箇所は、のぼり旗で注意喚起をとの意見をまとめましたが、担当課からは子どもが陰になって危険との意見があり、本年



サイドドットライン施工箇所（岩泉）

度は、歩道確保が困難な箇所にサイドドットラインを試行的に施工したとの説明がありました。



白線の塗り直し必要箇所（小川）

白線塗り直しで注意喚起
小川地区は、国道340号石畑から名目入間を調査しました。
歩道確保が困難な部分は、白線を塗り直すことで注意喚起できると意見をまとめました。
担当課からは、春以降に行うとの発言がありました。



減速走行が必要な箇所（小本）

交通量も多いため、安全教育を徹底していること、三陸道IC交差点の信号待ち付近へのガードレールなど設置に県担当者より前向きな意見があったとの説明が担当課からありました。

信号待ち児童の保護 安全教育の徹底

小本地区は、防災センターから三陸道IC交差点までの道、南中野の新住宅内交差点を調査しました。

【所感】地形や土地 所有権の問題で対応 に時間を要する、ま たは対応困難な箇所 もありました。関係 機関だけの対応とせ ず、地域の皆さまが 安全運転することが 重要です。ご協力を お願いします。 （千葉 泰彦）

交通安全も多いため、安全教育を徹底していること、三陸道IC交差点の信号待ち付近へのガードレールなど設置に県担当者より前向きな意見があったとの説明が担当課からありました。

厳しさは続くが 廃業はない状況

産業常任委員会（三田地久志委員長）は11月5日、アフターコロナを見据えた観光客誘客の調査研究として岩泉商工会と意見交換を行いました。
6割を超える会員にコロナの影響がありましたが、町などの支援により廃業はない状況との説明がありました。

商工会全体の状況報告

6割超会員に コロナの影響

6割を超える会員にコロナの影響があり、経営は厳しいですが、町の支援もあり廃業はない状況です。

出席会員の状況報告

酒造部門の経営 見直す取り組み

酒造部門がコロナで大きな影響を受けています。経営を見直す取り組みをしています。

人手不足が深刻

コロナの影響はないが、人手不足が深刻な

うれいら商店街の 良さを生かしたい

うれいら商店街の良さを生かしたい

回復が見えない

回復が見えない

客足が戻ったが 第6波の危機感

客足が戻ったが第6波の危機感

町施策に対する意見

来年も継続希望 マシマシ食事券

マシマシ食事券は期待しています。来年も継続してほしいです。

事務処理の簡素化希望 送料無料キャンペーン

送料無料キャンペーンは、事務処理が煩雑な印象です。もう少し簡素化してほしいです。

機械老朽化で修繕費増 厳しい運営状況が続く

産業常任委員会（三田地久志委員長）は11月12日、第三セクター運営支援策の調査研究として、（一社）岩泉農業振興公社と意見交換を行いました。
佐々木守専務理事からは、資金繰りが苦しいうえに機械の老朽化による修繕費の増加など厳しい運営状況との説明がありました。

状況報告

機械の老朽化で 作業効率が悪化

ほとんどの機械で13年以上耐用年数を超過していますが、更新資金がありません。

機械の老朽化が作業効率の悪化を招き、長時間作業が常態化している状況です。

町の補助金などで 収支の均衡を保つ

育成牛部門は80万円

ドローンによる 救助活動を調査



赤外線カメラを搭載したドローン

総務常任委員会（八重樫龍介委員長）は11月15日、防災対策の調査を行いました。
ドローンによる救助活動支援を行っている（株）トップフルー代表取締役古館裕三氏を招き、活動内容に理解を深めました。

夜間捜索により 早期発見に貢献

遭難発生後72時間以内の捜索で救出の可能性が上がります。
ドローン搭載の赤外線カメラを用いた夜間捜索により、早期発見に貢献することを目的としています。

自動航行ルート設定

国土地理院の標準地図、林道情報などをベースに自動航行ルートが設定されます。山間部の高低差にも対応した捜索が可能です。
AIで熱源を解析
人が動物かを特定
撮影画像がリモート解析チームに送信され、人と動物どちらの熱源かが特定されます。



農業振興公社との意見交換会

1月・2月の休日に 議員と語る会を開催

町民の皆さまとの意見交換会「議員と語る会」を次のとおり開催します。今回は、日曜日または祝日の開催としました。
改選後初めての開催となりますのでお誘いあわせのうえご参加ください。
皆さまと町の将来を語り合いましょ。



令和元年開催の様子

日程	地区	時間・会場
1月30日 (日)	小本	午前10時から11時30分 小本津波防災センター
	有芸	午後2時から3時30分 有芸生活改善センター
2月6日 (日)	安家	午前10時から11時30分 安家地区総合交流センター
	大川	午後2時から3時30分 大川基幹集落センター
2月11日 (祝・金)	小川	午前10時から11時30分 小川生活改善センター
	岩泉	午後2時から3時30分 役場大会議室



タブレット 活用開始

昨年5月末、タブレットが議員に貸与されました。

2回の操作研修会と議員会議や各常任委員会で経験を積み、9月定例会から本会議でも活用しています。

大量の議案を持ち運ぶ必要もなくなり、議案も探しやすいになりました。

平成30年から 議会で導入を検討

議会ではタブレット導入への取り組みを平



議案準備の経費軽減にも期待

紙代と人件費 240万円減

成30年から行っています。すでに導入している自治体職員、メーカー担当者招いて研修会を行い、必要性の検討や使用ソフトの厳選を行ってきました。タブレットは、議会運営のみならず町の会議でも活用する目的で導入され、議会には議員・職員分の17台、各課長用に25台が貸与されています。

12月定例会からは、町職員用議案のペーパー配布もなくなり、完全ペーパーレスへ向け取り組んでいます。タブレット導入により、年間で用紙代約10万円、議案の印刷・準備相当の人件費約230万円が削減される試算です。

私の復興 Part-7

本町は、震災や度重なる豪雨災害で、多くの住宅が被災しました。
公営住宅への入居や住宅再建も完了し、復興の道を歩んでいる町民の声をお伝えします。



武田 勇さん
(岩泉・58歳)

台風10号の時は、猿沢公民館に避難しました。翌朝、自宅は柱と屋根だけが残った状態で、言葉がありませんでした。近所の人からは、危ない場所と言われていたので、ついに来たかと思いました。

現在は上町の災害公営住宅に家族と暮らしています。温暖化で雨量が増えているので、一日も早く河川改修工事が完成することを願っています。

次回の定例会のご案内

次回は	2月10日(木)	町長施政方針演述
	28日(月)	条例補正予算審査
	3月2日(水)	条例補正予算審査
	3日(木)	一般質問
	4日(金)	一般質問
	7日(月)~10日(木)	新年度予算審査
	10日(木)	本会議

※都合により変更となる場合があります。

の予定です。

高校生が 傍聴体験

10月27日に開かれた臨時会では、職場体験で役場を訪れていた岩泉高校（吉川彰彦校長、生徒134人）の2年生4人が、議会を傍聴しました。初めて傍聴した感想と議会や町に対する要望を聴きました。



上館 穂香さん

バス発車時刻 午後7時前へ

想像以上に議員が質問をしていて驚きました。議場モニターのカメラ切り替えも早く、すごいと思いました。

町民バス（国境・上荒沢口線）上りの高校前発車時刻が、午後7時前になるように変更してほしいです。



橋本 知実さん

10月でも暖房 使えるように

高校の生徒総会とは違い、質問や意見がとても多いことに驚きました。議題をよく考えていると思いました。

高校で10月でも暖房を使用できるように、暖房費を支給してほしいです。



田代 灯さん

歩道を広く してほしい

一つ一つの議案に納得するまで質疑応答をしていてすごいと思いました。内容や用語が難しく、あまり理解することができませんでした。歩道をもう少し広く整備してほしいです。



中村 唯菜さん

小川行きバス 午後7時ごろに

内容が難しくよくわかりませんでした。質問や要望などがすぐに出てきていたのすごかったです。

小川行きのバスの時刻を午後7時ごろにしてほしいです。

お詫びと訂正

いわいずみ議会だより第196号（令和3年10月20日号）3ページで、第1分団長佐々木誠さんの行政区に誤りがありました。お詫びして訂正します。

誤：向町 正：下町



編集後記

12月定例会は、一般質問、条例補正予算に関する審議、常任委員会などさまざまな議論が交わされました。より一層町民の皆さまの実状や思いを議会活動に反映させるべく「議員と語る会」を鋭意企画中です。個別の要望事項もさることながら、ウィズコロナ、ポストコロナも見据えた今後の岩泉町を皆さまと考える機会との位置付けです。引き続きご協力をお願いいたします。

千葉泰彦
広報広聴常任委員

広報広聴常任委員会

委員長	畠山 昌典
副委員長	佐藤 安美
委員	八重樫 龍介
	和英
	千葉 泰彦
	野館 泰喜



古紙のリサイクルに取り組むオフィス町内会と、森林の再生に取り組む岩手県岩泉町との連携により実現した「森の町内会一問伐に寄与した紙」を使用しています。